岡山県　中３国語トライシート　主語と述語の対応

岡山県教育委員会　中学校国語トライシート・解答

公共データ利用規約（第１．０版）

練習欄を抜粋し、解答欄・挿絵を除去。出典表紙を追加。

https://www.pref.okayama.lg.jp/uploaded/life/466926_3279048_misc.pdf

https://www.pref.okayama.lg.jp/page/detail-4318.html

国語　トライシート　三―②―一

名前

文法―文節の対応

【解説】

人と話しているときや文章を書いているときに、思いつくままに進めていると、最初に置いた主語と述語が、うまく対応しないことがあるね。主語（部）、述語（部）の関係は、

㊀「何（誰）が」㊁「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる」「ない」

のどれかの形になるよ。どの文節がどの文節に対応しているかを意識して、話したり書いたりしよう。

練習

次の文は 主語（部）と 述語（部）の対応が不適切です。主語（部）と 述語（部）が適切に対応するように、述語（部）を直しましょう。

① 私の夢は、介護や福祉に関する仕事をしたいです。

② 人と接するとき、私が心がけるのは、常に相手の気持ちを考える。